ナンバリング	授業科目名（科目の英文名）	区分
M211L301	臨床心理学 (Clinical Psychology)	専門基礎科目 心身の機構

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担　当　教　員
必修	1	3 (編4)	前	火・2，3	関根　剛 内線：　　E-mail：sekine@oita-nhs.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

臨床心理学を学んでも、皆さんはカウンセラーになるわけではありません。臨床心理学の考えや方法を、いかに看護に生かすかが大切です。この講義では、看護場面に応用できるテーマを中心に解説します。そして、講義を通じて、人間の感じ方やとらえ方や人間理解の多様性に気づくと共に、基本的なコミュニケーションスキルを習得してもらえればと思います。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1．医療者としての臨床心理学の理論や技術について説明できる	○		○	○		○	○
2．ロールプレイで適切なコミュニケーションを実践できる	○	○	○				
3．臨床心理学の理論や技術を看護場面に応用できる			○	○	○		

【授業の内容】

1-4	カウンセリングの考え方とカウンセリングスキル（考え方、伝達、傾聴技法、要約・言い換え）
5-6	カウンセリングロールプレイ（基本編、応用編）
7-10	カウンセリング理論（精神分析、認知行動療法、患者中心療法、ＤＶＤ視聴）
11	構成的エンカウンターを通じて自己を振り返る
12-15	カウンセリングの看護場面への応用（学校場面、危機場面、ストレス対処、生涯発達）

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	各回の小テスト、質問に対する回答	・演習、ロールプレイ、動画などを通じ、体験的な理解・スキル獲得を持たせる。 ・次回テーマについて事前に考えておくべき課題を示す。
B：意見の表現・交換	○	発問・グループ討議	
C：応用志向	○	ロールプレイ、構成的エンカウンター	
D：知識の活用・創造	○	日常生活改善プログラムの作成	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	ロールプレイに向けたスキルの復習（4h）、次回の講義の課題について検討してくる（11ｈ）
事後学修	ロールプレイ等のレポート・日常生活行動プログラムの実行を中心に、各回の復習と応用経験を積む（15h）

【教科書】

毎回、ハンドアウトを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。関心をもった事については、積極的に読むことを勧めます。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標１	目標２	目標３	
レポート（ロールプレイ・行動変容）	20%		○	○	
各回の小テスト	50%	○	○	○	
総合レポート（又は試験）	30%	○			

【注意事項】

各回、小テストを課す。

【備　考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	臨床心理士	
教員以外で指導に関わる 実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる 実務経験者		
実務経験をいかした 教育内容	構成的エンカウンターグループ、コミュニケーションスキル等に関する演習を行う。	
授業形態	メディア授業	